

第 4 部

環境を思い行動する人づくり

第4部 環境を想い行動する人づくり

第1章 県民の参加と共働で環境保全に取り組む社会づくりの推進

第1節 体系的な環境教育・学習の推進

1 体系的な環境教育・学習の推進

(1) 環境アドバイザー制度*¹【環境政策課】

「美しい福井の環境を県民の手で守り育てる」ことを目的に、平成6年6月から、環境アドバイザー制度を導入しています。

この制度は、地域や学校、公民館、企業などが実施する環境問題に関する学習会等へ環境アドバイザーとして講師を派遣するもので、現在58人の環境に関する専門家が登録されています。

学習会等の内容は、環境問題やリサイクル、省エネ、自然保護などの講座や山や海での自然体験などがあり、皆さんに楽しく環境について学んでいただいています。

表4-1-1 環境アドバイザー利用実績

		21年度	22年度
派遣(紹介)件数		48件	21件
受講者数(人)		2,110	541
受講者数内訳	一般県民	1,286	331
	企業	191	0
	団体等	5	178
	教員・生徒	628	32
	その他	0	0

(注) 平成22年度は平成22年12月末まで



環境アドバイザーによる学習会

この制度により、県民の環境問題への関心や環境保全に対する取組みの意識が高まっています。

(2) 学校における環境教育

【高校教育課、義務教育課】

①環境・エネルギー教育支援事業

平成21・22年度は、県内の小・中学校を対象に、地域の特色に応じた実践を通して、児童・生徒の理解を深め、自ら考え、判断し、よりよく環境・エネルギー問題を解決する力を育成することをねらいとした「環境・エネルギー教育支援事業」に取り組んでいます。今後、各校の取組みを県内全体に広め、環境・エネルギー教育の一層の普及に努めていきます。

高等学校では、平成20年度、全県立高等学校30校を対象に、学校の特色に応じた環境・エネルギー教育の取組みを支援する「環境・エネルギー教育支援事業」を実施しました。

※事業対象 平成20年度：高等学校
平成21年度：小・中学校
平成22年度：小・中学校

表4-1-2 環境・エネルギー教育支援事業取組状況

	20年度	21年度	22年度
	高等学校	小・中学校	小・中学校
環境・エネルギー教育に関連する施設等の見学	10校	36校	31校
講師による講演や意見交換会での指導および助言	5校	3校	2校
エネルギー教育に関する資材・機材の活用方法の研究	29校	182校	119校

*¹環境アドバイザー制度：環境保全についての有識者や環境保全活動の実践者を「環境アドバイザー」に委嘱し、公民館、各種団体や学校等が主催する環境問題に関する学習会、講演会に講師として派遣、紹介する制度です。

②原子力・エネルギー教育推進支援事業

平成19年度から敦賀工業高等学校、若狭東高等学校、大野東高等学校、県教育委員会において、原子力・エネルギー教育を推進し、原子力分野等における優秀な人材を育成するために、必要な指導者の養成および専門的な教育を行うための環境整備等を支援する「原子力・エネルギー教育推進支援事業」を実施しています。

＜主な事業内容＞

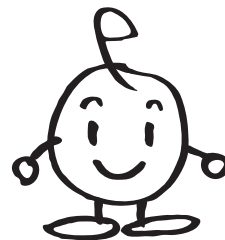
- ・原子力・エネルギーに関する授業の充実
- ・原子力・エネルギー人材育成セミナー
- ・外部講師による出前(出張)授業および講演会
- ・原子力関連施設見学
- ・原子力関係等資格取得の研修会
- ・原子力等関連施設視察研修
- ・原子力関連企業就職内定者研修

(3) こどもエコクラブの応援【環境政策課】

「こどもエコクラブ」とは、環境省が、子どもたちの主体的な環境学習や実践活動を支援している環境活動のクラブです。2人以上の幼児から高校生までの子どもと、活動を支える1人以上の大人（サポーター）でクラブを登録することができ、学校のクラ

スと担任の先生、家族単位、町内の子ども会など、気軽にクラブを作ることができます。平成21年度は70クラブ、2,742人の登録がありました。また、平成22年3月には、「こどもエコクラブ全国フェスティバル2010」が東京都で開催され、福井県からは坂口エコメイト（越前市）が県の代表として参加し、壁新聞セッションなど全国のエコクラブと交流しました。

なお、平成22年度は12月現在で47クラブ、2,000人が登録され、さまざまな活動を行っています。指導者がいない場合でも、環境アドバイザー制度（前述）には、こどもエコクラブの活動に対して、現地で子どもたちの指導・解説を行うフィールド活動応援の分野もあり、水生生物や野鳥観察、リサイクルの指導等、環境に関する専門知識や活動経験を有する58人が登録されています。



イメージキャラクター
「エコまる」

表4-1-3 こどもエコクラブ登録状況

	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
エコクラブ登録数	60	38	32	39	37	70	47

（注）各年度末の登録数を計上。ただし、平成22年度は12月現在の登録数

(4) 人材の育成

①ナチュラリスト・ナチュラリストリーダー^{*1}

【自然環境課】

県では、自然とのふれあいを促進し、自然保護思想の普及を図ることを目的として、平成2年度からナチュラリスト養成事業を推進しています。ナチュラリストの平成21年度末の登録者数は9,128人で、そのうち100人がナチュラリストリーダーに登録されています。

○ナチュラリストリーダーの養成

平成21年度は、ナチュラリストリーダーやリーダーをめざす人を対象に、より専門的な講座を年3回実施しました。

○普及啓発

自然保護の普及啓発誌として「ナチュラリスト」（57～59号）を編集・発行しました。

^{*1} ナチュラリスト・ナチュラリストリーダー：一般には、自然に関心を持って積極的に自然に親しむ人や自然の動植物を観察・研究する人のことを指しますが、県ではこれらの人を「ナチュラリスト」として登録することにより、本県の優れた自然環境を県民の方が守り育てていこうとする活動を支援しています。また、ナチュラリストのうち観察会の指導員として活動する人を「ナチュラリストリーダー」として登録しています。

②フォレストサポーター^{*1}【県産材活用課】

県では、県民や児童生徒に対して、森林・林業に関する知識習得を図るとともに森林の案内や野外体験学習等におけるボランティア活動の指導者を確保するため、フォレストサポーターとジュニアフォレストサポーターを養成しています。

平成21年度末現在107人のフォレストサポーターが認定を受け、県内各地で活動を展開しており、平成22年度は24人が養成研修を受講しています。

一方、ジュニアフォレストサポーターは、小学校高学年から大学生を対象とした養成研修を年2回（夏・冬）実施し、平成21年度末現在163人を認定しています。

今後も子どもたちに対して、魅力ある森林環境教育を行い、多様な森林体験の機会を提供しながら、将来、福井県の森林・林業を担う後継者、指導者として活躍してもらうことを期待しています。



ジュニアフォレストサポーターの養成研修

(5) 環境教育・学習の場【環境政策課】

県の自然保護センターや試験研究機関では、環境に関する展示や情報の提供、自然観察会等の学習機会の提供を行っています。

表4-1-4 県の主な環境教育・学習施設

施設名	概要
自然保護センター (大野市南六呂師)	- 県内の自然を紹介する展示 - プラネタリウム、天体観測施設 - 自然観察会等の実施
衛生環境研究センター (福井市原目町)	- 環境情報コーナーでの環境関連図書、ビデオ等の資料の提供 - 見学者の受け入れ
総合グリーンセンター (坂井市丸岡町楽間)	- 森や木とふれあえる遊び学べる展示 - 緑の教室の開催 - 樹木を知るためのグリーンアドベンチャーの実施
海浜自然センター (若狭町世久見)	- ふれあい水槽、若狭の海などを紹介する展示 - 自然体験講座の開催
内水面総合センター (福井市中ノ郷町)	河川や淡水魚に関することなどの展示

^{*1} フォレストサポーター：県が行う所定の研修を受講した者をフォレストサポーターに認定し、県民や児童生徒に対して、森林・林業に関する知識の普及と森林の案内や野外活動等のボランティア活動の指導者として活動しています。